

# 提言のポイント(案)

## 1 日本のセンチネル・プロジェクトの推進

- 利用可能データの目標 **5カ年計画(レセプト1億人、診療情報データ1,000万人)**
- 国民、関係者の医学・疫学研究利用への理解促進
- 医学・薬学・情報学、製薬・情報等関係産業、その他関係者の協力
- 医薬品の安全対策を含む医療の質的向上に向けた取組と医療への還元

## 2 インフラの整備・人材育成(短期～長期)

- 短期: ナショナルレセプトデータベースの活用体制(PMDA他)
- 中期: **大規模な電子化された診療情報データベースの国内研究・データ拠点の整備**  
研究資金や基金の整備(関係産業界の協力)
- 長期: 十分な研究人材(薬剤をはじめとする情報疫学研究者の倍増)、  
全国的な医学・疫学研究の普及

## 3 情報の取扱いのルール(短期)

- 電子化された診療情報データベースの情報分析における個人情報に対する指針整備
- 研究の利益相反の取扱いの明確化
- 薬事における疫学研究の品質保証の基準の明確化

## 4 その他

- 安全対策等の目的で医療情報のデータベースを構築し、利用するための法整備も視野に入れて検討する。
- 将来的に国民ID制度等が活用できる状況になった場合に、一元化も視野に入れ、データの結合等によるデータベースの拡張性を踏まえたプロジェクトの推進を期待。